

都市再生整備計画 事後評価シート
長崎駅周地区

令和5年3月

長崎県長崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長崎県	市町村名	長崎市	地区名	長崎駅周辺地区			面積	31ha			
交付期間	平成30年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	3540.4百万円	国費率	0.489					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	市道改良事業(2路線)、地域生活基盤施設(広場、駐車場、情報板、人工地盤等)、高質空間形成施設(緑化施設等、歩行支援施設、障害者誘導施設等)、高次都市施設(地域交流センター)									
		提案事業	賑わい創生事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	ベデストリアンデッキ①、エレベータ、シェルター	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし	—				—				
	新たに追加した事業	基幹事業	自動二輪車等駐車場、トイレ	自動二輪車等駐車場:関係機関との調整が完了したことに伴い事業を追加する トイレ:他事業にて整備する予定だったが、設置箇所を検討の結果、エスカレータと一体的な整備が適すると判断したため、事業を追加する				自動二輪車等駐車場:影響なし トイレ:影響なし				
		提案事業	なし	—				—				
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和3年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
	変更	—	—									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	長崎駅前商店街の休日歩行者通行量	人/日	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度				
	指標2	会議室の年間利用者の延人数	人/年	0人/年	H28	100,000人/年	R4	5,000(見込み値)	△	あり	・昇降場(エスカレーター、トイレ)の完成、また、出島メッセ長崎の開催がされていない時期に評価値を測定しているため、目標値を達成しなかったと考える。 ・両事業が完了している令和5年度にフォローアップを実施する必要がある。	令和5年9月
	指標3	長崎駅前電停の一日平均乗降客数	人/日	6,700人/日	H28	6,700人/日	R4	5,000(見込み値)	△	あり	・評定値が見込み値であるとともに、交流拠点施設の一部及び路面電車電停のエレベーター設置後の数値が加味されていないため、目標値を達成できなかったと考える。 ・令和5年度にフォローアップを実施し、実績値により評定値が確定する必要がある。	令和5年6月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度					
4)定性的な効果発現状況	行政と長崎駅周辺の関係事業者で定期的に広場利活用に係る勉強会を重ねながら駅前広場のエリアマネジメントを行う体制づくりを目指す、また、R3に供用開始された長崎駅西口駅前広場の利活用の具体策を検討するため、社会実験(提案事業)を段階的に行い情報共有や意見交換等を行っていくことで、関係事業者間での機運醸成が図られ、「長崎駅周辺まちづくり推進協議会」が令和4年5月に設立するとともに、事業者からのイベント提案や憩いの場の創出等、長崎駅西口駅前広場に新たな賑わいを生むことができた。											

5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
		—	—	—	—
	官民連携による取組	・月に1度、長崎駅周辺まちづくり推進協議会にて実施する長崎駅周辺の清掃活動に長崎市も参加。また、同協議会が実施する会議等にオブザーバーとして、長崎県及び長崎市等が参加した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	引き続き、左記活動及び会議に参加し、長崎の玄関口にふさわしい長崎駅の実現に向けて機運醸成を図る。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
	持続的なまちづくり体制の構築	・長崎駅の駅前広場のエリアマネジメントを行う体制づくりを目指す、また、R3に供用開始された長崎駅西口駅前広場の利用の具体策を検討するため、行政と長崎駅周辺の関係事業者で定期的に広場利用に係る勉強会を重ねるとともに、マルシェ(市場)や若者の企画による利用(モルック:フィンランドの伝統的スポーツ)、日常利用のためのイス・テーブルの設置などの社会実験の段階的实施を行うことで、関係事業者間での機運醸成を図った結果、令和4年5月の「長崎駅周辺まちづくり推進協議会」が設立するとともに、事業者からイベントの提案や憩いの場の創出等、長崎駅西口駅前広場で新たな賑わいを生むことができた。 ・出島メッセ長崎の開業1年前イベントを開催し、開業に向けた機運醸成を図った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も引き続き、社会実験(駅前広場活用検討や歩行者移動支援検討等)を行い、行政、事業者、市民が一体となって長崎駅を作り上げることを目指す。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

長崎長崎駅周辺地区(長崎県長崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 交流と賑わいを生み出す都市拠点を形成する。 目標1 交流人口の増加 目標2 周辺地域への賑わいの波及		歩行者通行量	単位:人/日	1,780人/日	H28	1,870人/日	R3	1,333	R3
		利用者数	単位:人/年	0人/年	H28	100,000人/年	R4	171,340	R4
		長崎駅前電停の乗降客数	単位:人/日	6,700人/日	H28	6,700人/日	R4	5,000(見込み値)	R4
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>社会実験</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>当該地区</p>  <p>■ 基幹事業 (道路) 長崎駅東通り線(道路)</p> <p>■ 基幹事業 (地域生活基盤施設) 駐車場</p> <p>■ 基幹事業 (道路) 長崎駅中央通り線(道路)</p> <p>■ 基幹事業 (地域生活基盤施設) 自動二輪車駐車場</p> <p>■ 基幹事業 (地域生活基盤施設) サイン</p> <p>■ 基幹事業 (地域生活基盤施設) トイレ</p> <p>■ 基幹事業 (地域生活基盤施設) エスカレーター</p> <p>■ 関連事業 事業主体:長崎市 暮らしにぎわい再生事業</p> <p>□ 提案事業(まちづくり活動推進事業)</p> <p>■ 関連事業 事業主体:長崎市 長崎駅周辺土地区画整理事業</p> <p>● 都市再生整備計画の区域</p> <p>■ 都市機能誘導区域</p> <p>■ 基幹事業 (参考)</p> <p>□ 提案事業</p> <p>○ 関連事業</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>エスカレーター</p>  <p>トイレ</p>  <p>駐輪場</p>  </div> </div>									
<p>駐車場</p> 		<p>■ 基幹事業 出島メッセ長崎 ・イベントスペース(地域生活基盤施設) ・リバーサイドデッキ(地域生活基盤施設) ・緑化スペース(高質空間形成施設) ・会議室(高次都市施設) ・ペDESTリアンデッキ(地域生活基盤施設)</p> <p>整備イメージ</p> 		<p>出島メッセ長崎(リバーサイドデッキ)</p> 		<p>出島メッセ長崎(ペDESTリアンデッキ)</p> 		<p>出島メッセ長崎(緑化スペース)</p> 	
<p>出島メッセ長崎(会議室)</p> 		<p>出島メッセ長崎(イベントスペース)</p> 		<p>サイン</p> 					
<p>まちの課題の変化</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・駅前交通広場を暫定供用しており機能は不十分であるものの、交通の輻輳は一部解消されている。引き続き事業を実施し、駅前交通広場を完成させる必要がある。 ・長崎駅東側に情報板が設置されていないため、引き続き、情報板の設置等により、二次交通への乗換えしやすさを向上を図る必要がある。 ・回遊性を向上させて長崎駅周辺で生み出される賑わいを周辺に波及させるため、長崎駅中央通り線、東通り線の整備を引き続き行っていく必要がある。 ・地区の魅力を高めるため、市民や観光客で賑わう場を創出する必要がある。 							
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・整備した施設等の効果を持続させるため、出島メッセ長崎を含む長崎駅周辺で開催される催事情報の発信と共有を行う。また、整備した施設を安全安心に利用できる環境の提供に向けた維持管理を行う必要がある。 ・整備前の駅前交通広場は狭小で、バス・タクシー・一般車など様々な交通の輻輳が生じているため、交通広場の機能分担を図る必要がある。 ・国道上や駅前広場内等にバス停が分散しており、利用者にとってわかりづらい、また、市・県民及び観光客等に対する様々な情報を総合的に発信する機能が不十分であるため、二次交通への乗換えしやすさを向上、情報発信機能を強化する必要がある。 ・駅周辺で生み出される賑わいの波及と生み出される賑わいを周辺地域に波及させるために、長崎駅周辺土地区画整理事業で整備される道路と一体となった道路を整備することにより、駅東側の幹線道路とのアクセス向上を図る必要がある。 ・市民や観光客で賑わう場の創出に向け、地区の魅力を高める必要がある。 ・長崎スタジアムシティは、新たな雇用の創出、交流人口の拡大等の本市の施策の推進に寄与し、地域活性化に大きく貢献することが期待されているため、長崎駅の整備と一体的に長崎スタジアムシティ周辺の道路や高質空間形成施設などの環境整備を行い、安全で快適な環境を創出する必要がある。 							